

2025年(令和7年)12月17日(水曜日)

第3030号

(2)

中退予防と奨学金制度を議論

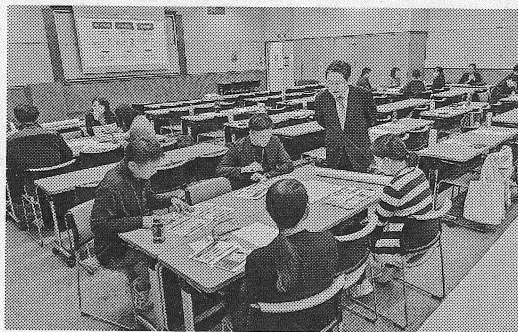
学生文化創造 国公立大学職員が事例共有

NPO法人学生文化創造は、10月23日(木)、24日(金)の2日間に関わたり、「学生支援に関する研修会」をハイブリッド方式(対面・オンライン併用)で開催した。国・公・私立大学職員が参加し、合計49人が受講した。

同研修は、望まない中途退学(中退)の予防と、奨学金制度を中心とした修学支援の徹底をテーマとし、具体的な対応策など深い議論が行われた。

研修ではまず、学生の中退予防に焦点が当てられた。

まず、甲南大学教授の高石恭子氏は、「望まない中退者を増加させないための学びの継続を



グループワークの様子

支える戦略」窓口に来ない学生に届くアプローチ」と題し、中途退学数の現状、若者の心理的特徴、コロナ禍が学生の心に与えた影響、学生が抱えやすい不安とその現れ方、そして中退を防ぐための方法について講義を行った。受講生は具体的な想定事例に基づきグループディスカッションを行い、その成果を発表した上で講師からのコメントを受けた。

続いて、大正大学特命教授の山本繁氏が「大学中退予防の取り組み―高校と大学の違いに着目して―」と題して登壇した。同氏は、中途退学の類型や要因と対策に加え、出席に対する意識、保護者サポート、友人の作りやすさといった高校と大学間の違いに注目した。また、修得単位別の退学率などのデータも紹介された。グループディスカッションでは、〇〇大学の中退対策をテーマに、数グループから具体的な中退予防策が発表された。

研修の後半は、学生への経済支援と奨学金制度の活用重点が置かれた。東京大学教育・学生支援部長の八島崇氏による講演「未来を拓く学びのサポート―奨学金制度のご紹介(奨学金とはどんな制度)―」では、教育費と奨学金の関係性、諸外国の奨学金制度、日本学生支援機構(JASSO)以外の奨学金事業、そしてJASSOの給付型・貸与型奨学金の概要や最近のトピックについて多角的な解説がなされた。講演後には、受講生からの質問にも適切な返答が行われた。

続いて、福知山公立大学事務局長の辻直人氏は、「奨学金マスター①―JASSO奨学金制度の完全攻略―」を解説した。学生等への経済支援制度の概要やJASSO奨学金の主な変更点に焦点を当てた。グループワークでは、①実際の相談事例への適切な対応策、または②在学中サポートの適切な対応策について議論され、発表グループからは具体的な対応策が述べられ、他のグループへも情報が共有された。

さらに、(株)ベネッセ・キャリア主席研究員の村山和生氏は、「奨学金マスター②―修学支援新制度のハンドブック―」にて、修学支援新制度とその変遷等について詳細に説明した。グループワークは、「修学支援新制度の認知度と学修意欲を高めるための広報活動をしたい」という学生支援担当副学長からの想定オーダーに基づき行われ、受講生は様々な視点からの広報戦略を発表した。

また、同研修は、厚生労働省人材開発支援助成金「人材育成支援コース」対応型として実施された。

受講生からは、「日常業務のヒントがたくさんあり大変参考になった」など研修内容の充実ぶりを示す意見が多数寄せられた。